

## プロフィール



高麗郡建郡1300年事業 応援大使

マンガ家 **里中 満智子**  
(さとなか まちこ)

- 1948年 大阪生まれ
- 1964年 高校2年生『ピアの肖像』で第1回講談社新人漫画賞受賞
- 1974年 『あした輝く』『姫がいく!』の両作品で講談社出版文化賞受賞
- 1982年 『狩人の星座』講談社漫画賞
- 2006年 全作品及び文化活動に対し、文部科学大臣賞受賞
- 2010年 文化庁長官表彰受賞
- 2013年 『マンガ古典文学 / 古事記』古事記出版大賞太安万侶賞受賞
- 2014年 外務大臣表彰受賞



- 子供から大人向きまで、ジャンルを問わず幅広い分野で作品を発表し、約50年に渡り500タイトル近くの作品を描く
- 代表作に『アリエスの乙女たち』『あかね雲』『海のオーロラ』『あすなる坂』『女帝の手記』『長屋王残照記』『ギリシャ神話』『旧約聖書』『古事記』など多数
- 歴史を扱った作品も多く、特に、持統天皇の生涯を描いた『天上の虹』(23巻)は、32年をかけて2015年3月に完結した代表長編作品

(公社)日本漫画家協会常務理事 / 一般社団法人マンガジャパン代表 / NPO アシアンマンガサミット運営本部代表 / 大阪芸術大学キャラクター造形学科・学科長 / 外務省国際漫画賞審査委員長 / 文化庁芸術選奨選考委員 / 文化庁日本遺産審査委員会委員 / NHK 放送文化研究会委員 / 古都保存財団理事 他

応援大使  
里中 満智子さん  
からのメッセージ

### 高麗郡建郡1300年、心より御祝い申し上げます。

1300年前、東アジアはまさに激動の時代でした。その激動の中、我が国に定住した高麗の人たちと、高麗郡設立を進めた当時の日本政府の絆の深さに想いをはせずにはいられません。1300年の間には様々な出来事がありましたが、お互いの先祖たちの交流と共存の1300年間の軌跡と奇跡を振り返る素晴らしい機会になるはずです。

### 高麗浪漫学会 高橋 一夫 会長 解説 高麗王若光の生きた時代を想像する



**7世紀**の飛鳥時代は、日本(当時は倭国)をふくめ東アジア地域全体が、激動の時代でした。唐と新羅の連合軍が、日本と同盟国だった百済を攻めて、660年に百済を滅ぼしました。しかし、百済復興を目指す百済遺臣軍に対して日本は援軍をおくり、663年の「白村江の戦い」で大敗をし、今度は唐・新羅の連合軍が日本に攻めてくる恐怖に襲われました。さらに強国だった高句麗でも唐・新羅の連合軍に攻められると共に内紛が起こり、その結果668年に滅ぼされてしまいます。高句麗よりの使者・玄武

若光は、そんな激動の時期に666年に日本へ救援を求めにやってきましたが、白村江で敗れた日本には援軍を出すほどの国力は残ってなかったと思います。国を失った若光は、おそらく大和王権のある飛鳥の都に留まり、今度は、知識ある渡来人として朝廷の政権を支えたと想像されます。従五位下(貴族の位)の若光は、703年に王の姓を賜り、高麗王若光となり、その後の716年の高麗郡建郡へと続くものと考えられます。確証はありませんが、建郡時まで生きていたとすれば、若光は70歳以上の高齢になっていたと考えられます。また、その激動の同時代を生きた人物として第41代天皇の持統天皇(645～703年:女性天皇で在位は690～697年)がいます。病がちの夫・天武天皇を補佐して非凡な政治の才をふるい、中央集権の律令国家建設に尽力した女性天皇です。想像力を豊かにすれば、若光と持統天皇は、ほぼ同年代の人物です。飛鳥の地で二人は顔を合わせ、国内外の話もふくめ言葉を交わしたのではないのでしょうか。これは古代歴史ロマンですが、このような想像を関連する地域の皆さま方と共有できれば大変嬉しいと考えます。

### 会場までの交通案内



## 日高市文化体育館 ひだかアリーナ

〒350-1206 埼玉県日高市大字南平沢 1010 電話 042-985-2090

- 徒歩** JR 高麗川駅より約 20 分(タクシーで約 5 分)
- 車** 県道川越日高線の日高郵便局の交差点より約 3 分
- 駐車場** 日高市文化体育館または日高市役所の P へ  
(※駐車場は限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。)

### 会場への送迎シャトルバス 無料

(※時刻については若干の変更がある場合もございます。)

JR 高麗川駅 約 10 分 → ひだかアリーナ ひだかアリーナ 約 10 分 → JR 高麗川駅

時刻	11:40 発	12:00 発	12:20 発	時刻	15:10 発	15:30 発	15:50 発
	12:40 発	13:00 発	13:20 発		16:10 発	16:30 発	16:50 発